

杉並区高齢者実態調査報告書

高齢者の生活実態と意識に関する調査

介護保険に関する調査

概要版

この報告書は、平成19年10月から11月にかけて杉並区が実施した「高齢者の生活実態と意識に関する調査」「介護保険に関する調査」の報告書を概要版としてまとめたものです。

平成20年 3月 杉並区

報告書の見方

- ・ 基数となるべき実数（ n ）は、設問に対する回答者数である
- ・ 四捨五入の関係で各構成比の合計が100%にならない場合がある
- ・ 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある

【高齢者の生活実態と意識に関する調査】 調査の概要

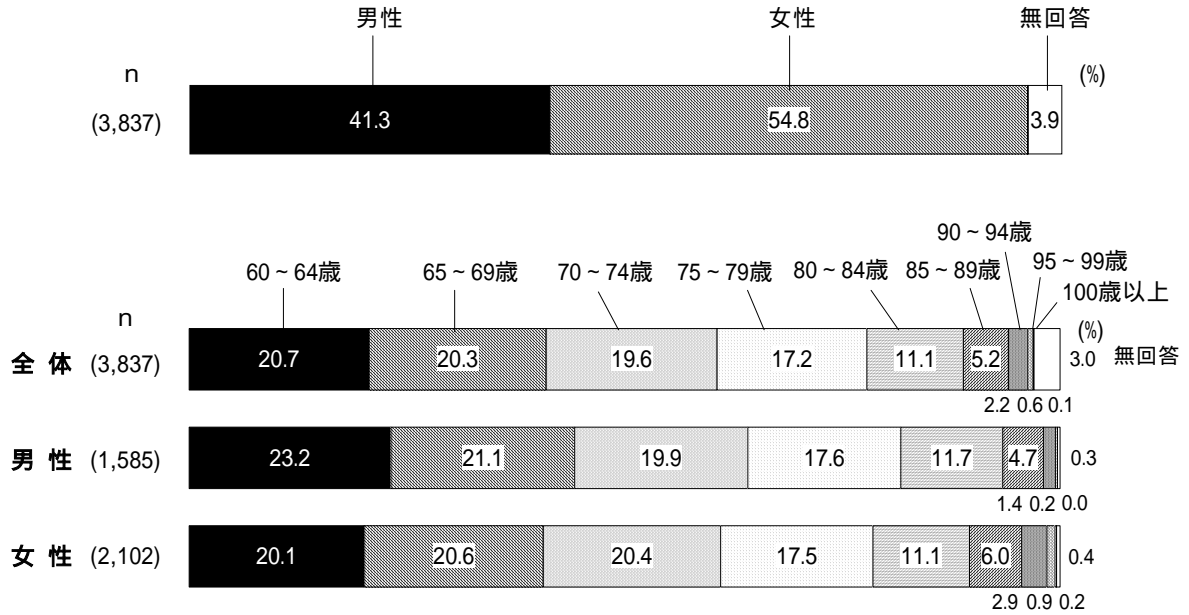
1. 調査目的 保健福祉計画改定及び今後の高齢者施策のための基礎調査（世帯の状況、ひとり暮らし、住居の状況、介護予防の意識等の把握）
2. 調査対象 杉並区在住の60歳以上の区民から無作為抽出した6,200人
（男性2,600人、女性3,600人）
3. 調査方法 郵送配布、郵送回収
4. 調査期間 平成19年10月29日～11月22日
5. 回収結果 回収数（票）：3,982件（回収率64.2%）
6. 調査内容 <この概要版では 印のついた設問について紹介しています。>

(1) 対象者の属性	現在、行っている活動
記入者・ご本人の居場所	生きがいの有無
入院先の医療機関の所在地・入院期間	生きがいを感じる事
性別・年齢	今後やってみたいこと
高齢者だと思う年齢	今後行いたいNPO・ボランティア活動
(2) 家族の状況について	NPO・ボランティア活動などを行う場合に 必要な条件
世帯の状況	(6) 健康について
日中独居の状況	健康に気を使っていること
別居している子や孫の有無・所在地	悩みやストレス
親族の方との会話や連絡の頻度	悩みやストレスの原因
(3) 暮らし向きについて	相談相手
自身の生活を支える収入源	日常生活自立度
昨年1年間の世帯の収入額	外出時の車の利用状況・利用にあたっての支障内容
昨年1年間の本人の収入額	(7) 介護について
収入を伴う仕事の有無	介護保険の認定状況（65歳以上の方）
収入を伴う仕事の種類	(8) 介護保険以外の保健福祉サービス等について
仕事をしている主な理由	保健福祉サービス等の認知度
今後の就労意向	「地域のたすけあいネットワーク」の利用意向
(4) 住まいについて	「地域のたすけあいネットワーク」を利用 したくない理由
住居形態	地域包括支援センター（ケア24）の認知度
在宅生活の継続の可能性・条件	地域包括支援センター（ケア24）の利用状 況・利用内容
介護が必要となった場合に希望する生活場所	杉並区成年後見センターの認知度
現在の地域で今後とも暮らしていきたい希望	介護予防事業の認知度
(5) 日頃の暮らしについて	今後充実すべき高齢者施策
日常生活の状況	(9) 社会的孤立の状況について
健康や医療、福祉にかかわる情報の入手先	(10) 自由回答
近所の方との付き合いの頻度	
外出頻度	
情報機器の利用状況	

【高齢者の生活実態と意識に関する調査】調査結果

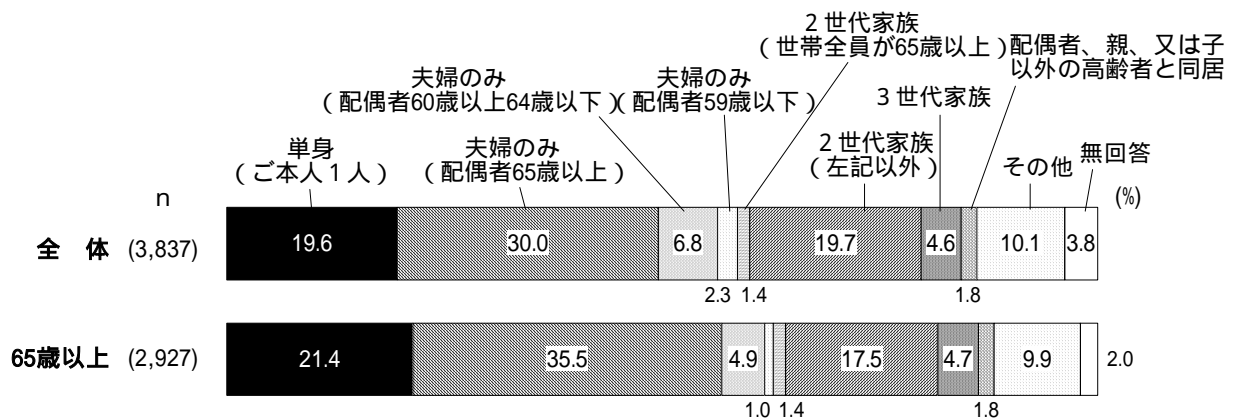
(1) 対象者の属性

性別・年齢（問3）



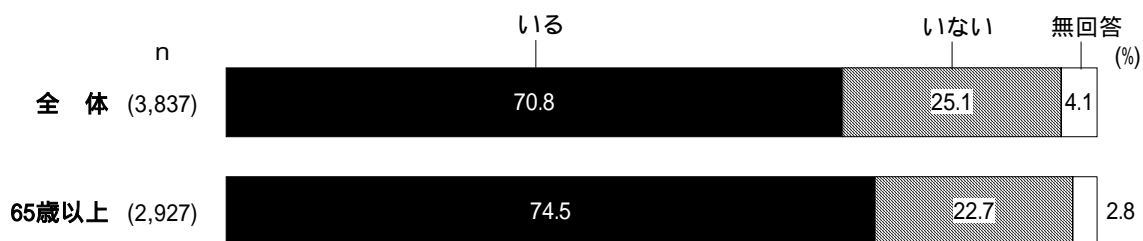
(2) 家族の状況について

世帯の状況（問5）



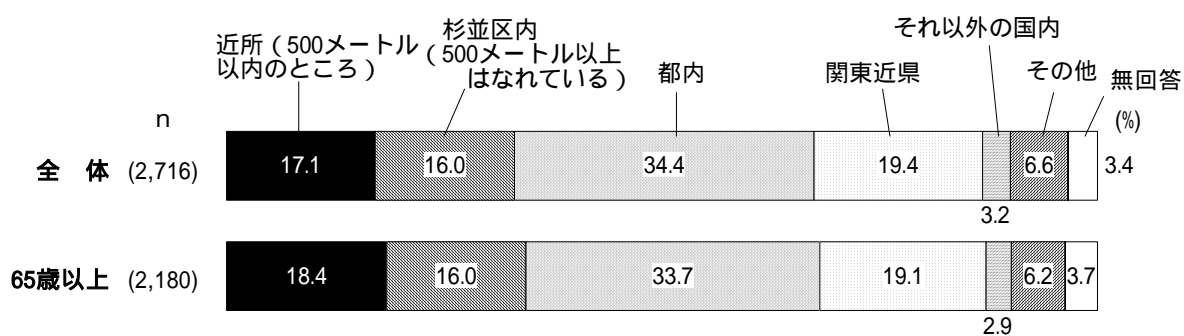
別居している子や孫の有無（問7）

別居している子や孫の有無は、65歳以上の方についてみると、「いる」が74.5%、「いない」が22.7%であった。



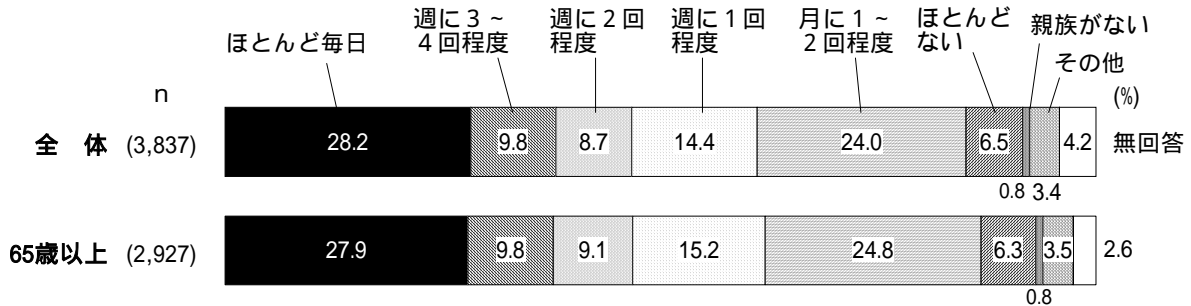
一番近くにいる子や孫の所在地（問7 - 1）

一番近くにいる子や孫の所在地は、65歳以上の方についてみると、「都内」（33.7%）、「関東近県」（19.1%）、「近所（500メートル以内のところ）」（18.4%）の順となっている。



親族の方との会話や連絡の頻度（問8）

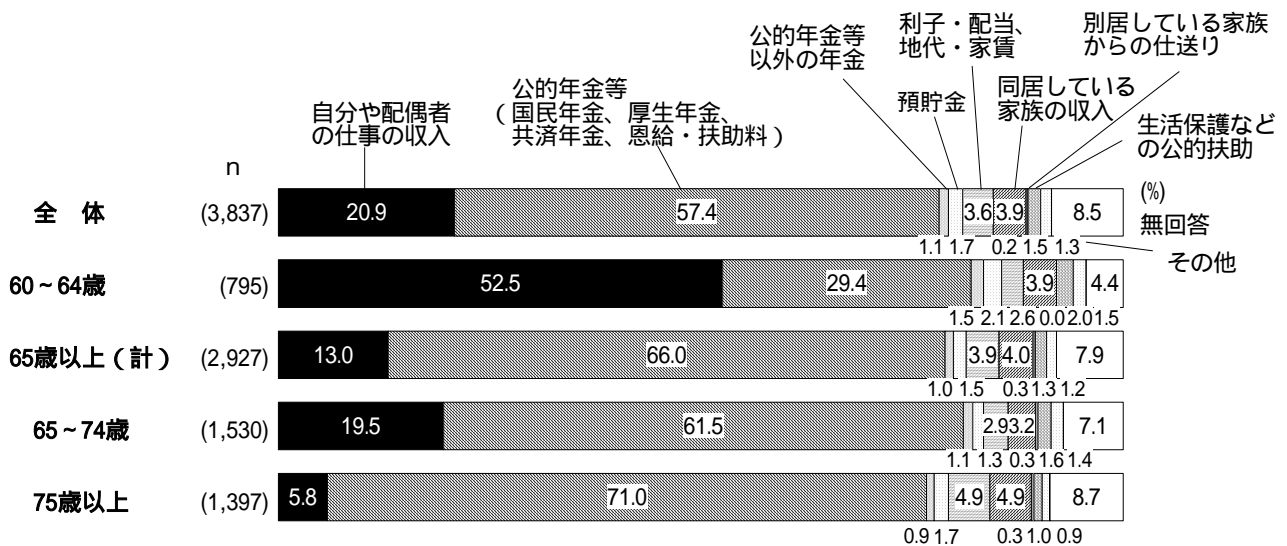
親族の方との会話や連絡の頻度は、65歳以上の方についてみると、「ほとんど毎日」が27.9%で最も多く、以下、「月に1～2回程度」（24.8%）、「週に1回程度」（15.2%）の順で続いている。一方、「ほとんどない」は6.3%となっており、「親族がない」（0.8%）を合わせて7.1%の方が親族の方との会話や連絡がない状況となっている。



(3) 暮らし向きについて

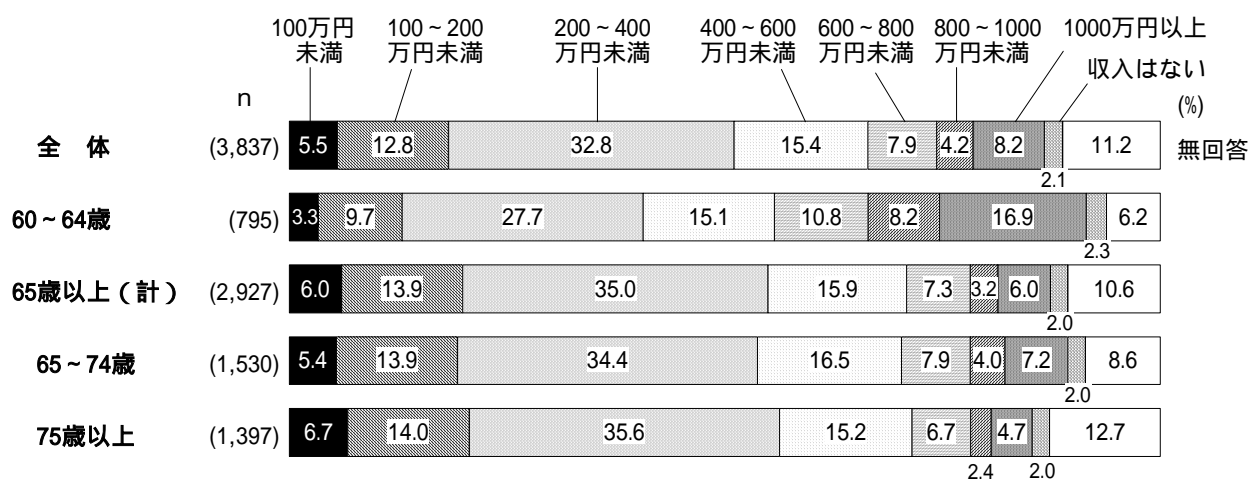
自身の生活を支える収入源（問9）

自身の生活を支えている収入源は、65歳以上（計）の方についてみると、「公的年金等（国民年金、厚生年金、共済年金、恩給・扶助料）」が66.0%で最も多く、以下、「自分や配偶者の仕事の収入」（13.0%）、「同居している家族の収入」（4.0%）の順で続いている。



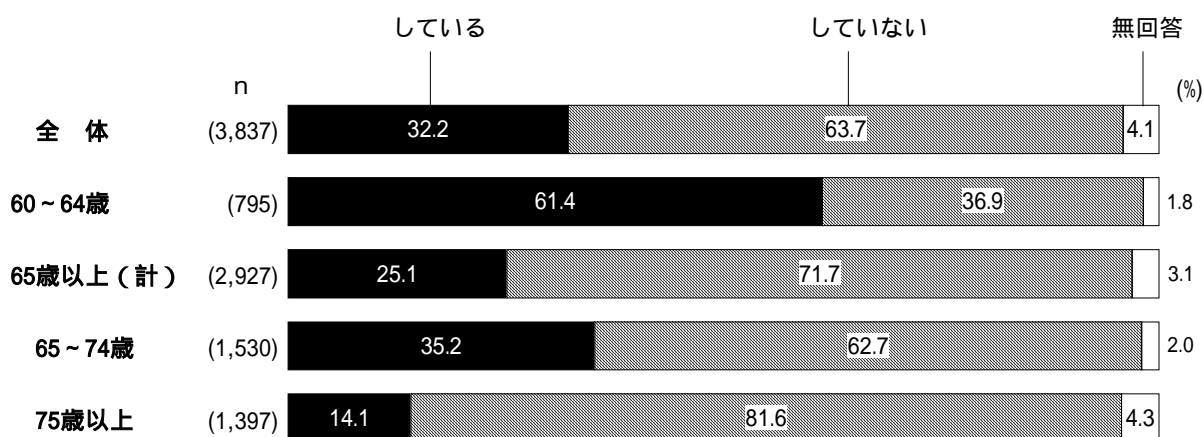
昨年1年間の世帯の収入額（問10）

昨年1年間の世帯の収入額は、65歳以上（計）の方についてみると、「200～400万円未満」が35.0%で最も多く、以下、「400～600万円未満」（15.9%）、「100～200万円未満」（13.9%）の順で続いている。



収入を伴う仕事の有無（問12）

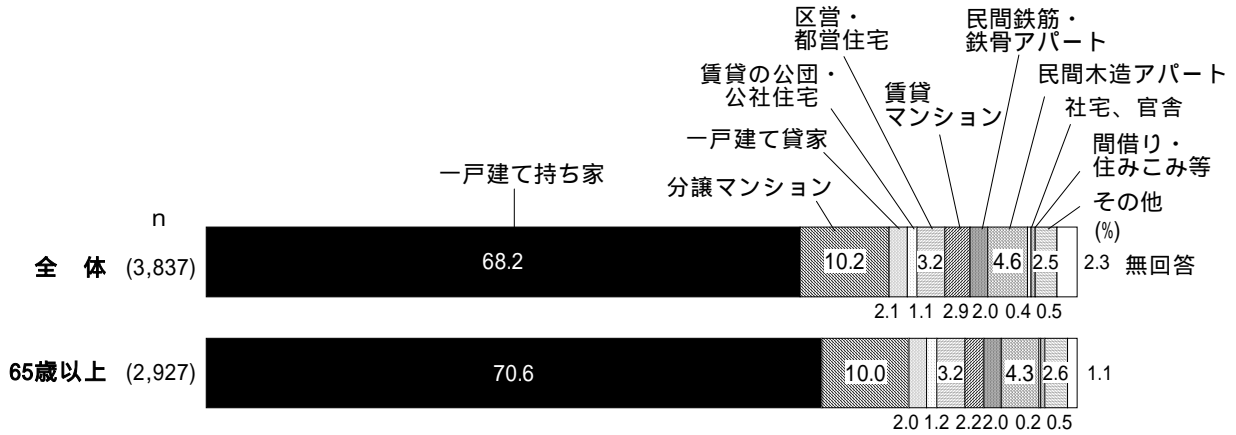
収入を伴う仕事の有無は、65歳以上（計）の方についてみると、「している」が25.1%であった。



(4) 住まいについて

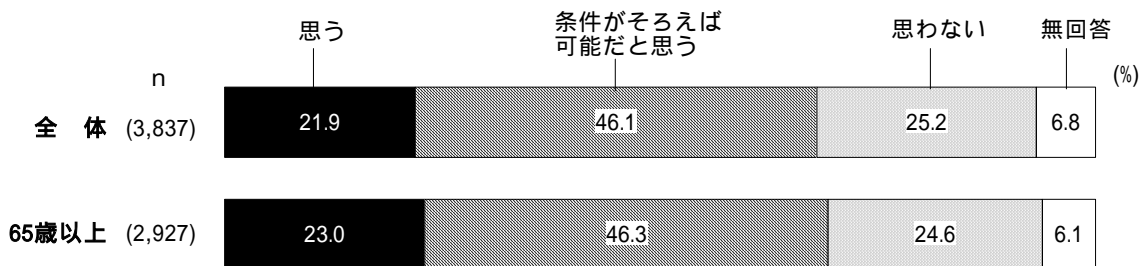
住居形態 (問14)

住居形態は、65歳以上の方についてみると、「一戸建て持ち家」が70.6%で最も多く、以下、「分譲マンション」(10.0%)、「民間木造アパート」(4.3%)の順で続いている。



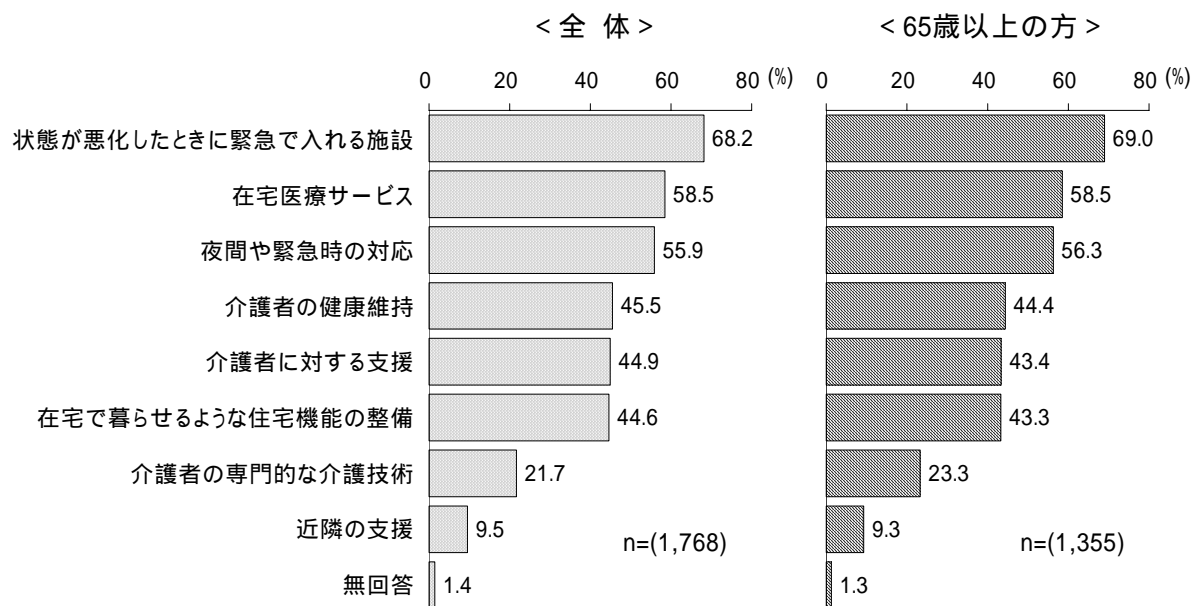
在宅生活の継続の可能性 (問15)

現在の住まいでの在宅生活の継続の可能性は、65歳以上の方についてみると、「思う」が23.0%、「条件がそろえば可能だと思う」が46.3%、「思わない」が24.6%であった。



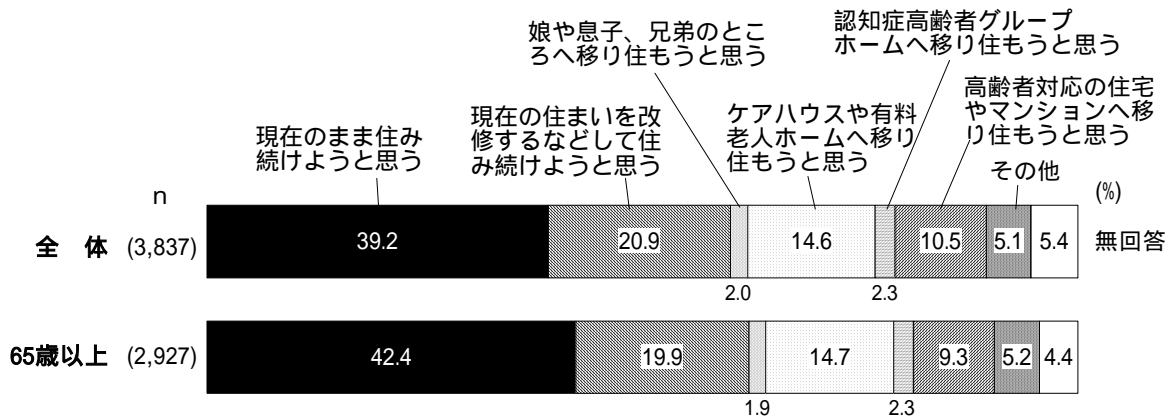
在宅生活の継続の条件 (問15 - 1)

在宅生活を続けるための条件は、65歳以上の方についてみると、「状態が悪化したときに緊急で入れる施設」が69.0%で最も多く、以下、「在宅医療サービス」(58.5%)、「夜間や緊急時の対応」(56.3%)の順で続いている。



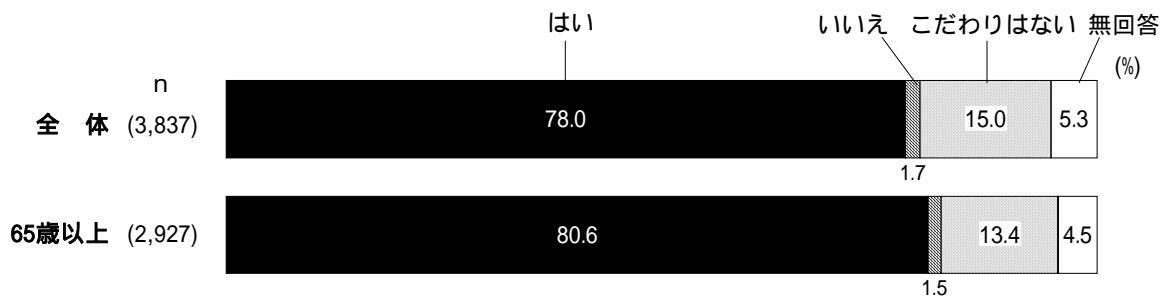
介護が必要となった場合に希望する生活場所（問16）

介護が必要になった場合に希望する生活場所は、65歳以上の方についてみると、「現在のまま住み続けようと思う」が42.4%で最も多く、以下、「現在の住まいを改修するなどして住み続けようと思う」(19.9%)、「ケアハウスや有料老人ホームへ移り住もうと思う」(14.7%)の順で続いている。



現在の地域で今後とも暮らしていきたい希望（問17）

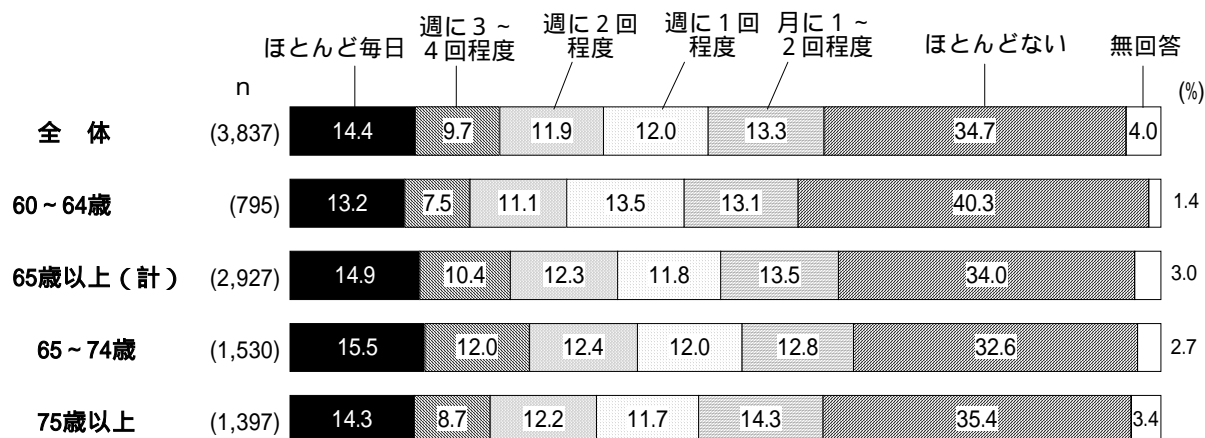
現在の地域で今後とも暮らしていきたい希望は、65歳以上の方についてみると、「はい」が80.6%、「こだわりはない」が13.4%、「いいえ」が1.5%であった。



(5) 日頃の暮らしについて

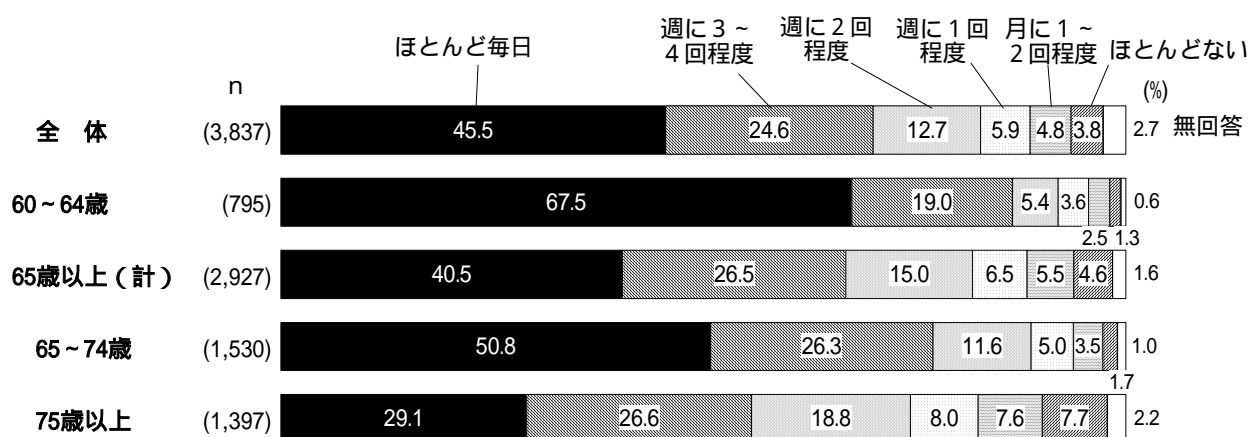
近所の方との付き合いの頻度 (問20)

近所の方との付き合いの頻度は、65歳以上(計)の方についてみると、「ほとんど毎日」が14.9%、「月に1～2回程度」が13.5%、「週に2回程度」が12.3%、「週に1回程度」が11.8%、「週に3～4回程度」が10.4%であった。一方、「ほとんどない」との回答は34.0%であった。



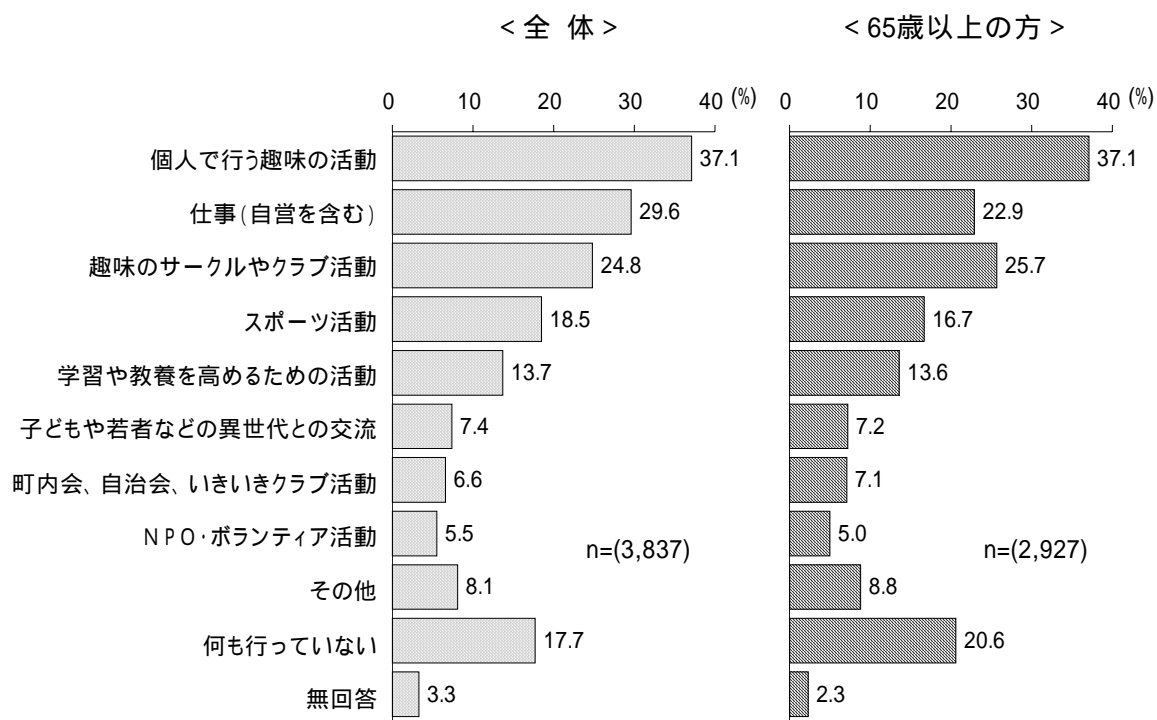
外出頻度 (問21)

外出頻度は、65歳以上(計)の方についてみると、「ほとんど毎日」が40.5%、「週に3～4回程度」が26.5%、「週に2回程度」が15.0%、「週に1回程度」が6.5%、「月に1～2回程度」が5.5%であった。一方、「ほとんどない」との回答は4.6%であった。



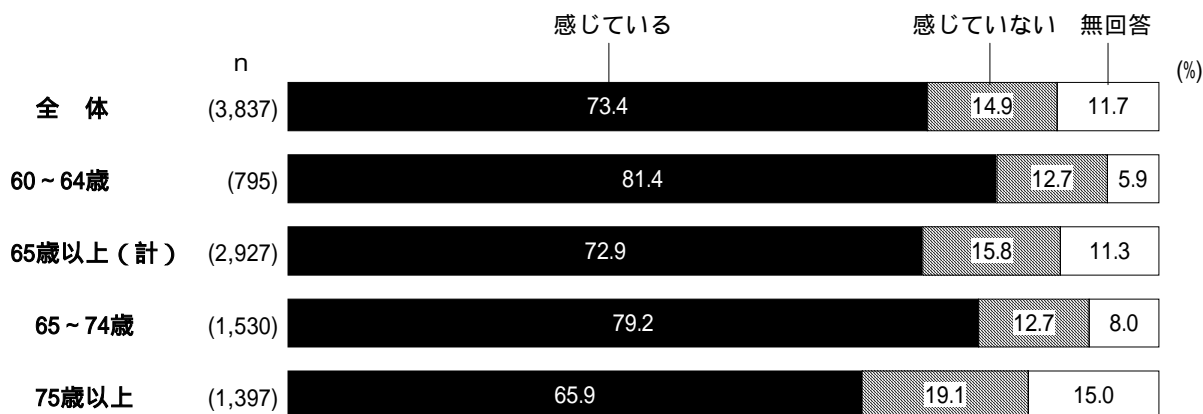
現在、行っている活動（問23）

現在、行っている活動は、65歳以上の方についてみると、「個人で行う趣味の活動」が37.1%で最も多く、以下、「趣味のサークルやクラブ活動」（25.7%）「仕事(自営を含む)」（22.9%）の順で続いている。一方、「何も行っていない」との回答は20.6%であった。



生きがいの有無（問24）

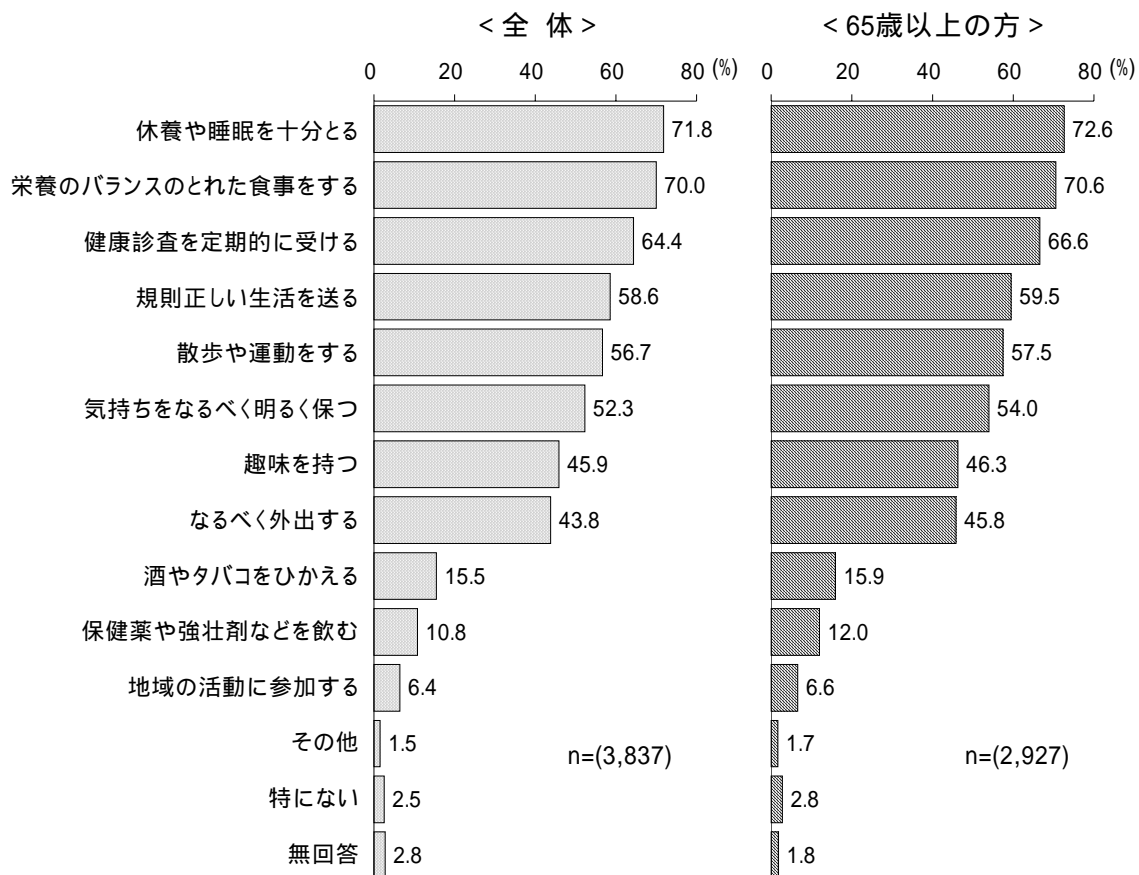
生きがいの有無は、65歳以上(計)の方についてみると、「感じている」との回答が72.9%であった。



(6) 健康について

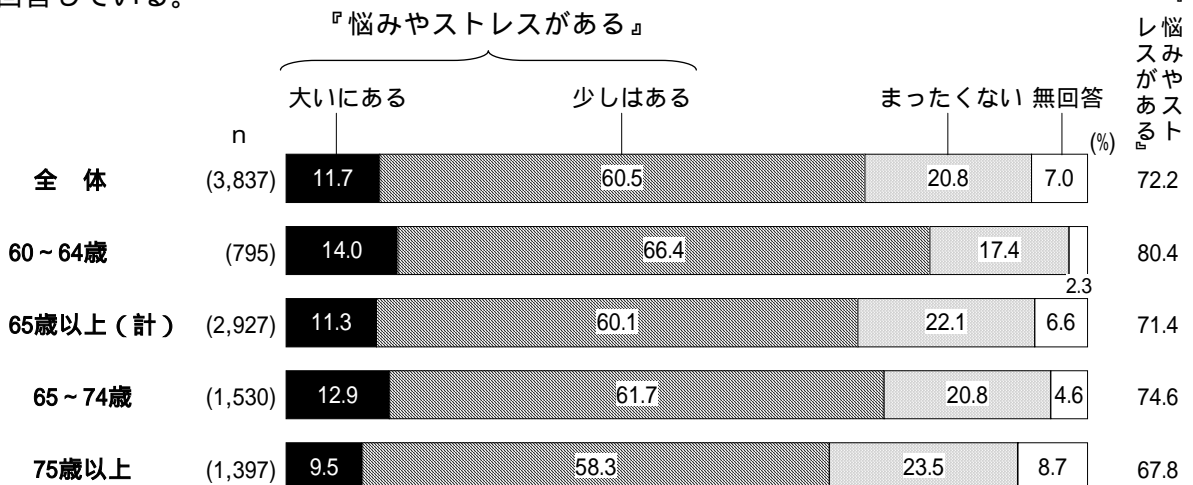
健康に気を使っていること(問26)

健康に気を使っていることは、65歳以上の方についてみると、「休養や睡眠を十分とる」が72.6%で最も多く、以下、「栄養のバランスのとれた食事をする」(70.6%)、「健康診査を定期的に受ける」(66.6%)、「規則正しい生活を送る」(59.5%)、「散歩や運動をする」(57.5%)の順で続いている。



悩みやストレス(問27)

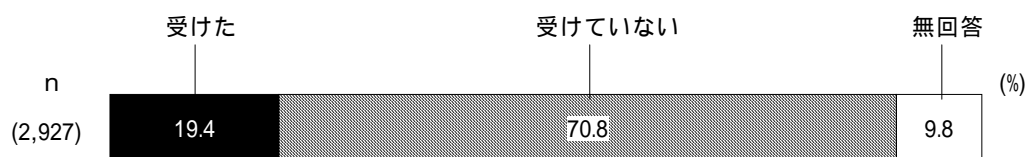
悩みやストレスの有無は、65歳以上(計)の方についてみると、「少しはある」が60.1%で最も多く、これに「大いにある」(11.3%)と合わせて71.4%が『悩みやストレスがある』と回答している。



(7) 介護について

介護保険の認定状況（65歳以上の方）（問30）

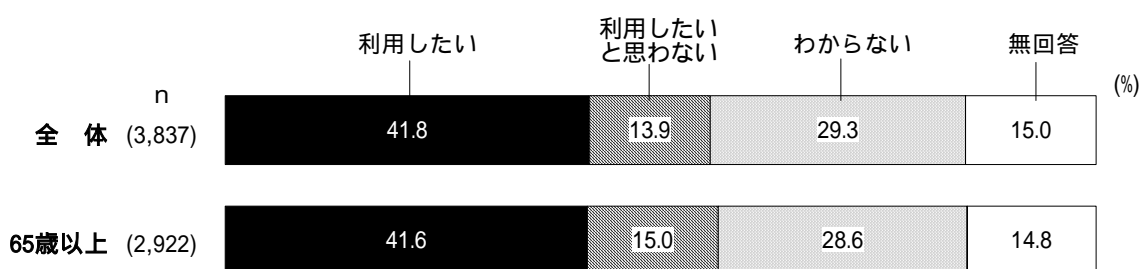
65歳以上の方の介護保険の認定状況は、「受けた」が19.4%、「受けていない」が70.8%であった。



(8) 介護保険以外の保健福祉サービス等について

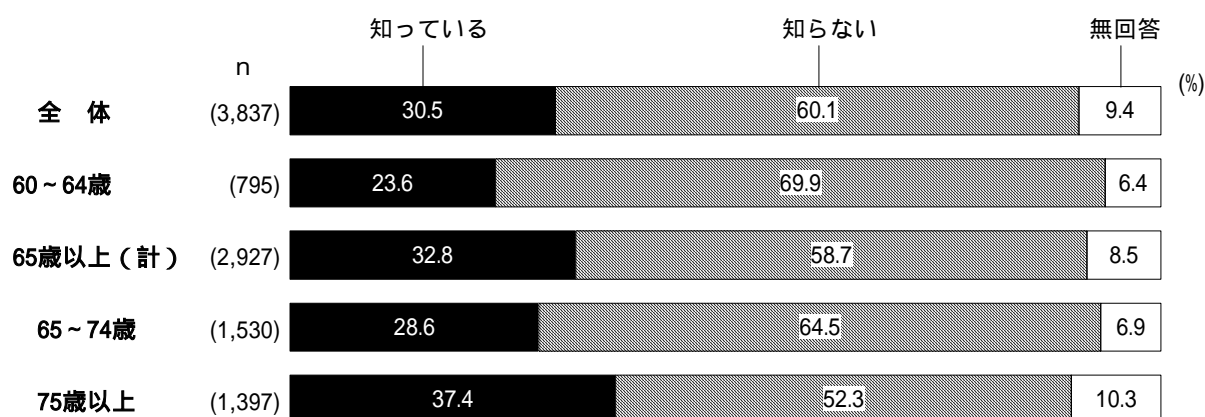
「地域のたすけあいネットワーク」の利用意向（問32）

「地域のたすけあいネットワーク」の利用意向は、65歳以上の方についてみると、「利用したい」が41.6%、「利用したいと思わない」が15.0%、「わからない」が28.6%となっている。



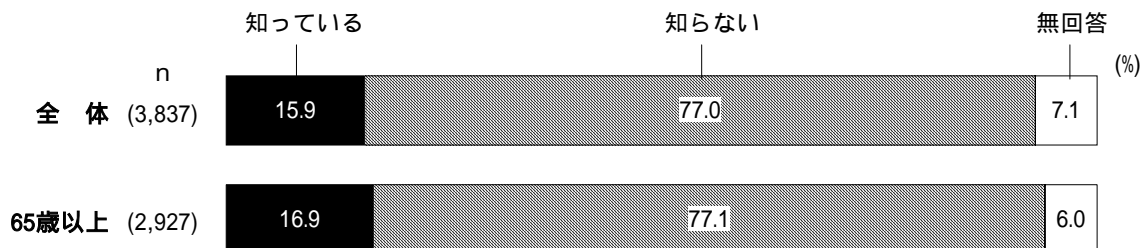
地域包括支援センター（ケア24）の認知度（問33）

地域包括支援センター（ケア24）の認知度は、65歳以上（計）の方についてみると、「知っている」が32.8%、「知らない」が58.7%であった。



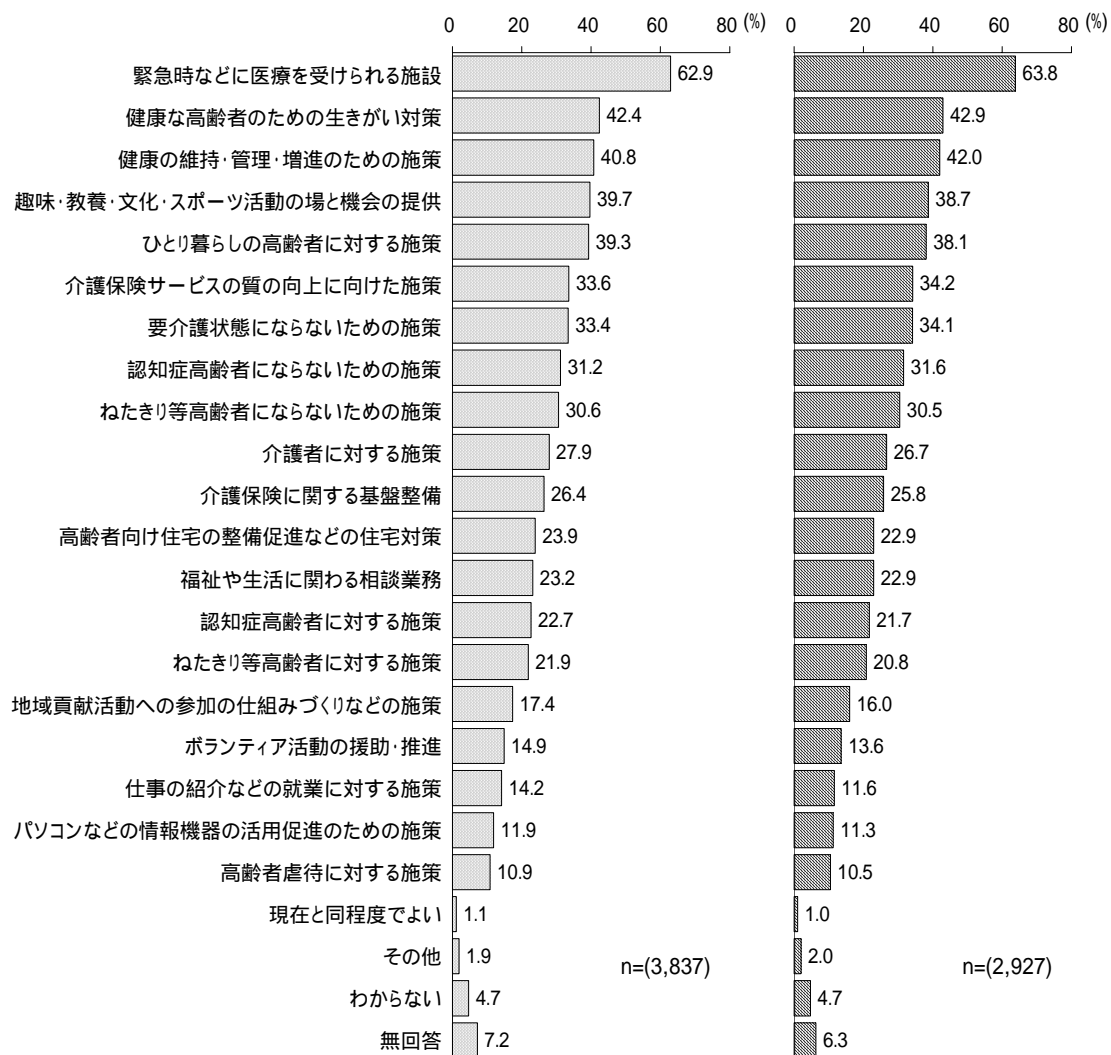
介護予防事業の認知度（問35）

介護予防介護事業の認知度は、65歳以上の方についてみると、「知っている」が16.9%、「知らない」が77.1%となっている。



今後充実すべき高齢者施策（問36）

今後充実すべき高齢者施策は、65歳以上の方についてみると、「緊急時などに医療を受けられる施設」が63.8%で最も多く、以下、「健康な高齢者のための生きがい対策」(42.9%)、「健康の維持・管理・増進のための施策」(42.0%)、「趣味・教養・文化・スポーツ活動の場と機会の提供」(38.7%)、「ひとり暮らしの高齢者に対する施策」(38.1%)の順で続いている。



【介護保険に関する調査】 調査の概要

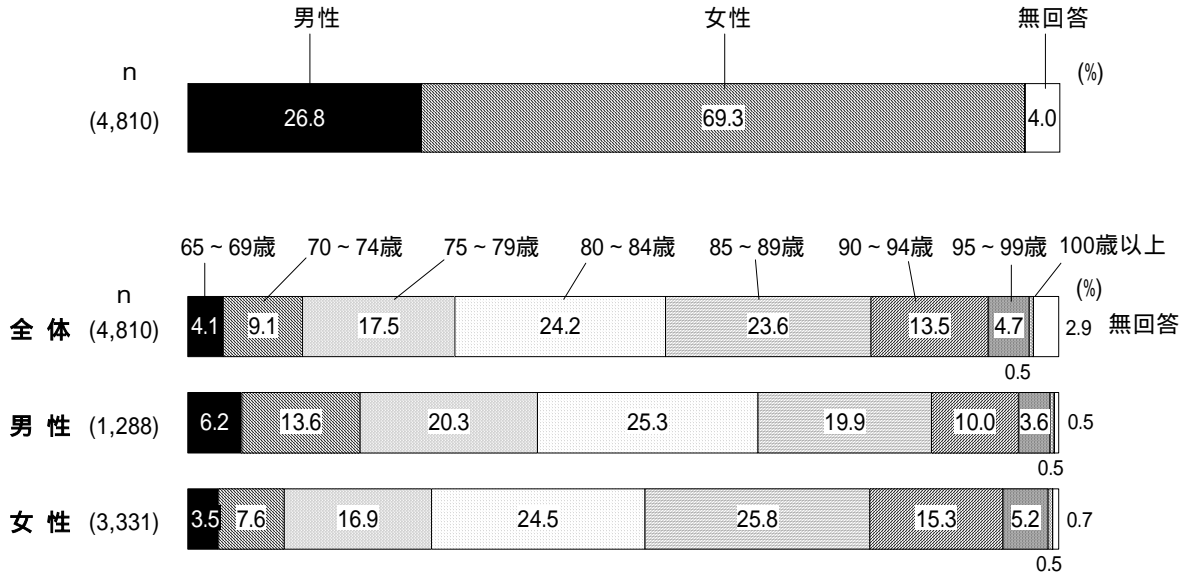
1. 調査目的 介護保険事業計画の改定のための基礎調査
2. 調査対象 介護保険の要支援・要介護認定を受けている在宅の第1号被保険者から無作為抽出した7,200人
3. 調査方法 介護保険相談員による訪問配布、訪問回収
4. 調査期間 平成19年10月16日～11月16日
5. 回収結果 回収数(票): 5,738件(回収率79.7%)
6. 調査内容 <この概要版では 印のついた設問について紹介しています。>

<p>(1) 対象者の属性</p> <p>記入者・ご本人の居場所</p> <p>入院先の医療機関の所在地・入院期間</p> <p>性別・年齢・世帯の状況・認定結果</p> <p>(2) 住まい方について</p> <p>住居形態</p> <p>住居の在宅介護への適・不適、適していない部分</p> <p>在宅生活の継続の可能性・条件</p> <p>重度化した場合に希望する生活場所</p> <p>(3) 日常生活について</p> <p>日常生活自立度の程度</p> <p>日常生活上の相談相手</p> <p>在宅で受けている医療援助</p> <p>(4) サービスの利用状況について</p> <p>9月に主に利用したサービス</p> <p>9月時点でサービスを利用していない理由</p> <p>訪問介護の9月の利用状況</p> <p>介護予防・身体介護・生活援助のサービス内容</p> <p>訪問介護の週の利用時間</p> <p>福祉用具の貸与・購入の9月の利用状況</p> <p>福祉用具の貸与品目の利用状況</p> <p>(5) 担当ケアマネジャーについて</p> <p>事業所の周知方法</p> <p>ケアマネジャーの訪問状況</p> <p>ケアマネジャーに対する満足度</p> <p>ケアプランの受取状況</p> <p>事業所を選択する際の情報源</p> <p>(6) 杉並区の地域密着型サービスについて</p> <p>認知症対応型共同生活介護の利用意向</p>	<p>認知症対応型共同生活介護を希望する方の費用負担の限度</p> <p>認知症対応型通所介護の利用意向</p> <p>認知症対応型通所介護の利用を考えていない理由</p> <p>小規模多機能型居宅介護の認知度</p> <p>小規模多機能型居宅介護の利用意向</p> <p>小規模多機能型居宅介護を希望する方の費用負担の限度</p> <p>夜間対応型訪問介護の認知度</p> <p>夜間対応型訪問介護の利用意向</p> <p>夜間対応型訪問介護を利用したい理由</p> <p>(7) 介護予防について</p> <p>現在又は過去に利用した介護予防サービス</p> <p>介護予防サービス利用後の状態変化</p> <p>(8) 介護保険制度について</p> <p>介護保険サービスの満足度</p> <p>介護保険の手続き時における最初の相談先</p> <p>(9) 主な介護者について</p> <p>主な介護者の有無・続柄・年齢</p> <p>高齢者ご本人との同居の状況</p> <p>主な介護者の健康状態</p> <p>主な介護者の介護時間帯・介護年数</p> <p>介護をするうえでの困難点</p> <p>主な介護者以外の介護者の有無</p> <p>高齢者ご本人の認知症の程度</p> <p>今後の在宅介護に対する考え</p> <p>最近6か月間の本人との衝突の有無</p> <p>介護で困った時の相談相手</p> <p>(10) 自由回答</p>
--	---

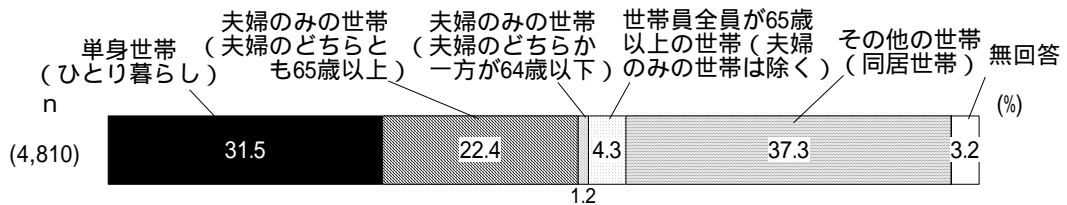
【介護保険に関する調査】 調査結果

(1) 対象者の属性

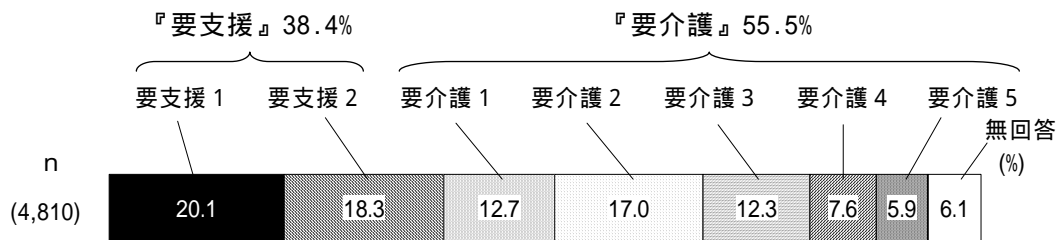
性別・年齢（問3）



世帯の状況（問4）



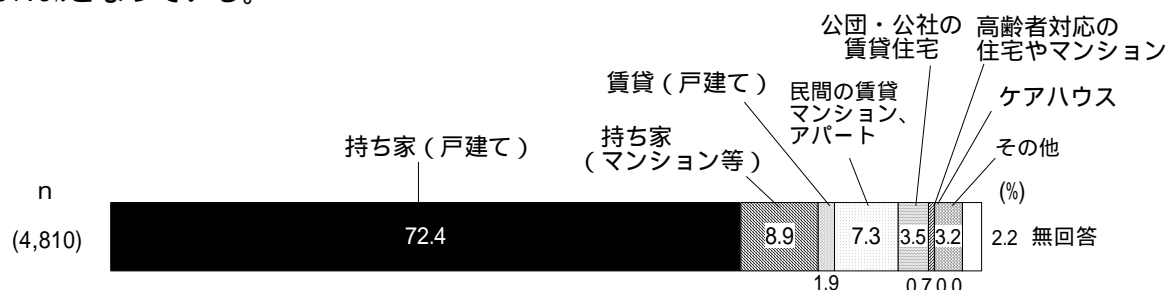
認定結果（問5）



(2) 住まい方について

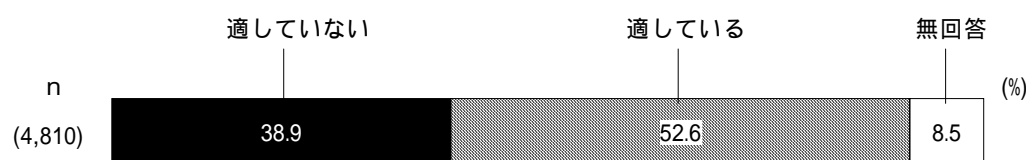
住居形態 (問6)

住居形態は、「持ち家(戸建て)」が72.4%で最も多く、以下、「持ち家(マンション等)」(8.9%)、「民間の賃貸マンション、アパート」(7.3%)の順となっている。マンション等を含めると持家は81.3%となっている。



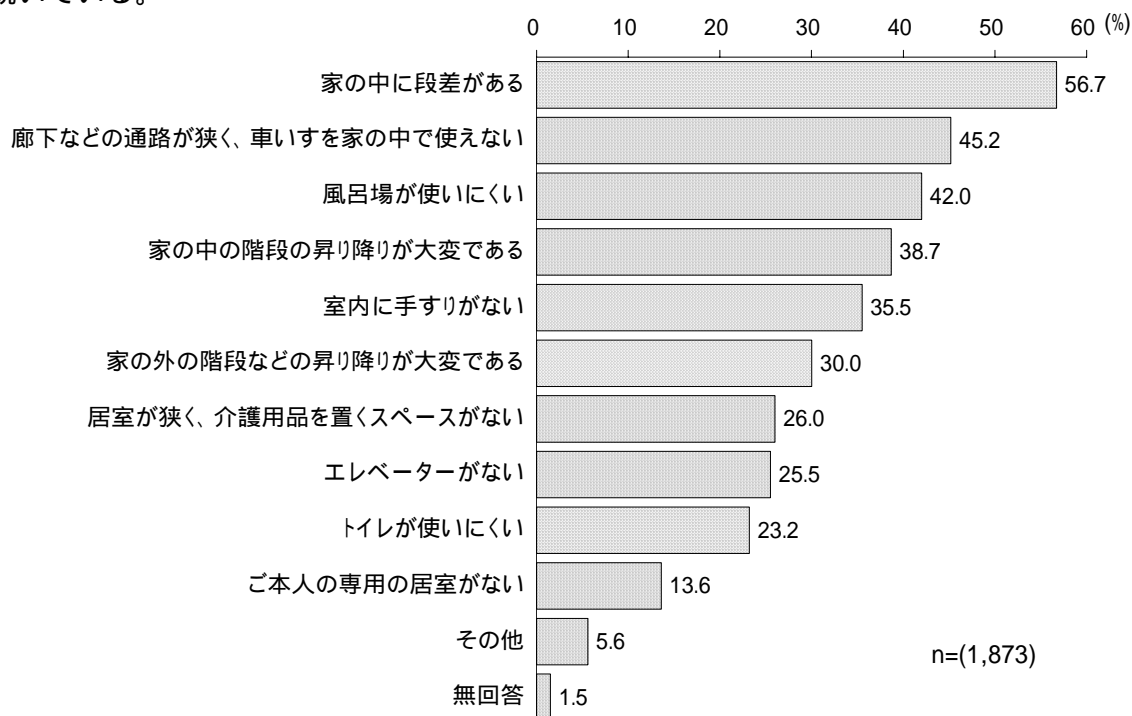
住居の在宅介護への適・不適 (問7)

現在の住まいの在宅介護への適・不適は、「適している」が52.6%、「適していない」が38.9%であった。



在宅介護に適していない部分 (問7-1)

在宅介護に適していない部分は、「家の中に段差がある」が56.7%で最も多く、以下、「廊下などの通路が狭く、車いすを家の中で使えない」(45.2%)、「風呂場が使いにくい」(42.0%)、「家の中の階段の昇り降りが大変である」(38.7%)、「室内に手すりがない」(35.5%)の順で続いている。



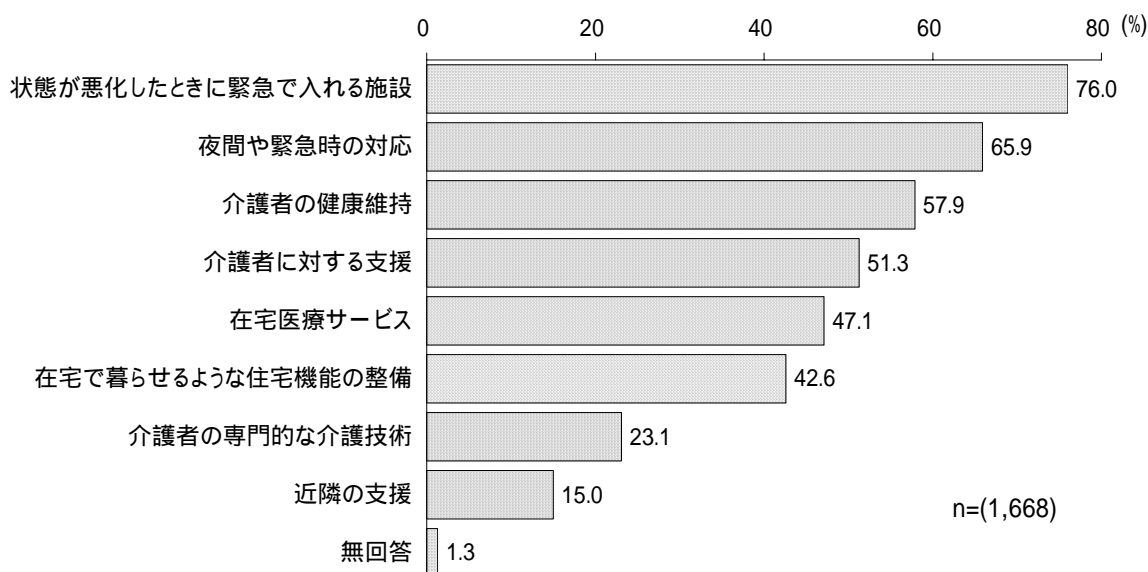
在宅生活の継続の可能性（問 8）

在宅生活を続ける可能性は、「思う」が42.1%、「条件がそろえば可能だと思う」が34.7%、「思わない」が12.5%となっている。



在宅生活の継続の条件（問 8 - 1）

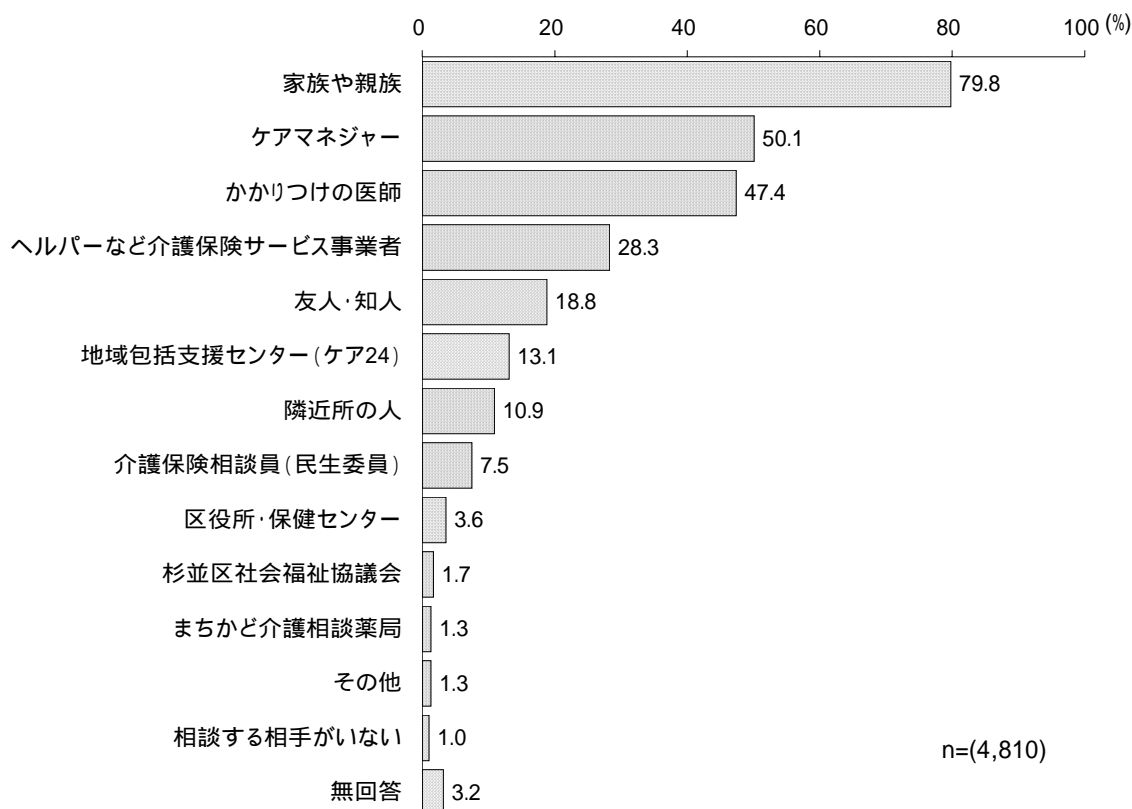
在宅生活を続けるための条件は、「状態が悪化したときに緊急で入れる施設」が76.0%で最も多く、以下、「夜間や緊急時の対応」(65.9%)、「介護者の健康維持」(57.9%)の順で続いている。



(3) 日常生活について

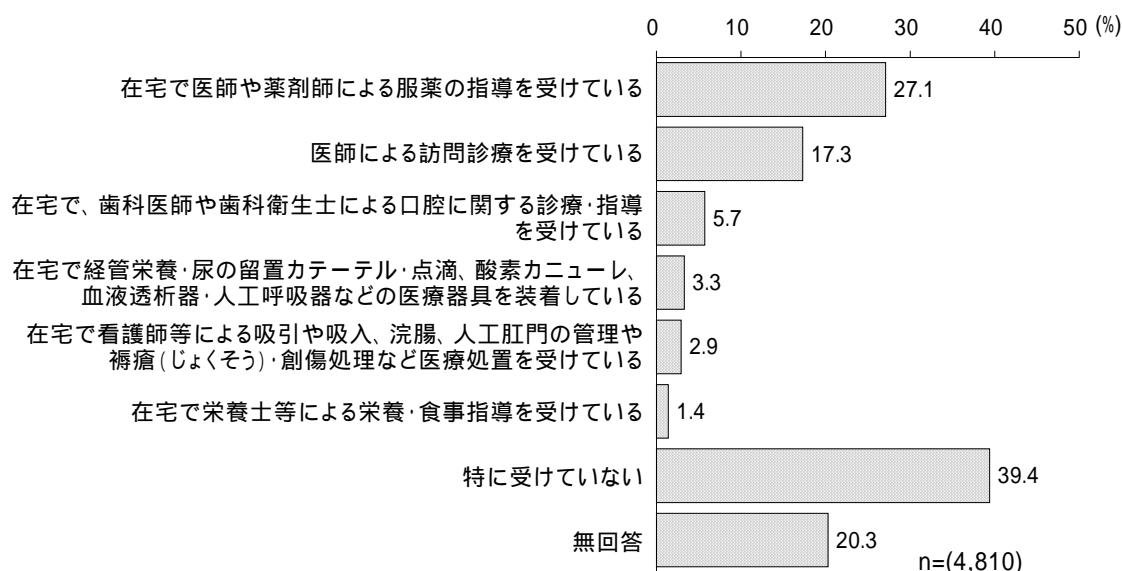
日常生活上の相談相手 (問11)

日常生活上の相談相手は、「家族や親族」が79.8%で最も多く、以下、「ケアマネジャー」(50.1%)、「かかりつけの医師」(47.4%)、「ヘルパーなど介護保険サービス事業者」(28.3%)、「友人・知人」(18.8%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(13.1%)の順で続いている。



在宅で受けている医療援助 (問12)

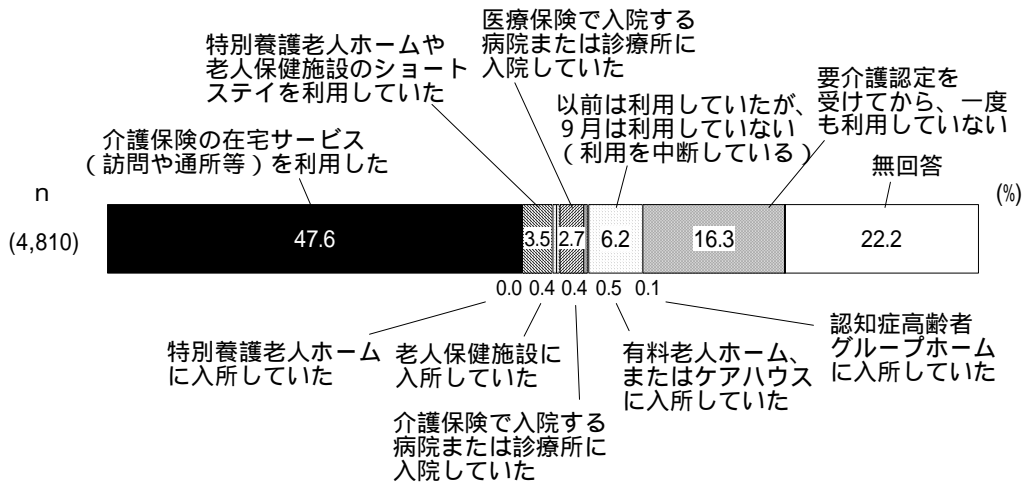
現在受けている医療援助は、「在宅で医師や薬剤師による服薬の指導を受けている」が27.1%で最も多く、以下、「医師による訪問診療を受けている」(17.3%)、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」(5.7%)の順で続いている。また、「特に受けていない」が39.4%と、全体の約4割を占める。



(4) サービスの利用状況について

9月に主に利用したサービス(問13)

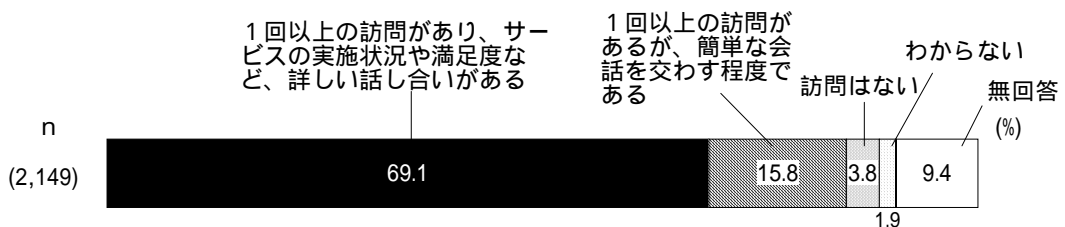
9月に主に利用したサービスは、「介護保険の在宅サービス(訪問や通所等)を利用した」が47.6%で最も多く、「特別養護老人ホームや老人保健施設のショートステイを利用していた」は3.5%であった。一方、「要介護認定を受けてから、一度も利用していない」は16.3%、「以前は利用していたが、9月は利用していない(利用を中断している)」は6.2%であった。



(5) 担当ケアマネジャーについて

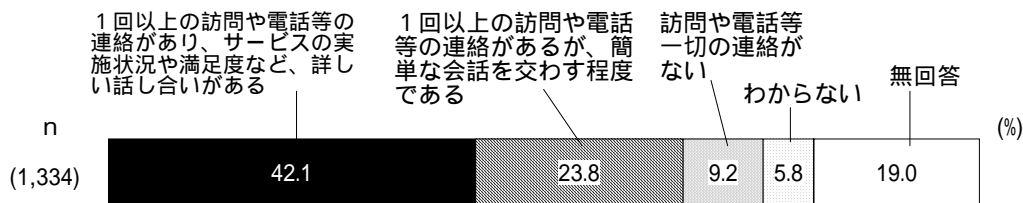
ケアマネジャーの訪問状況(要介護1以上の方)(問18)

ケアマネジャーの訪問状況は、「1回以上の訪問があり、サービスの実施状況や満足度など、詳しい話し合いがある」が69.1%、「1回以上の訪問があるが、簡単な会話を交わす程度である」が15.8%であった。一方、「訪問はない」との回答は3.8%であった。



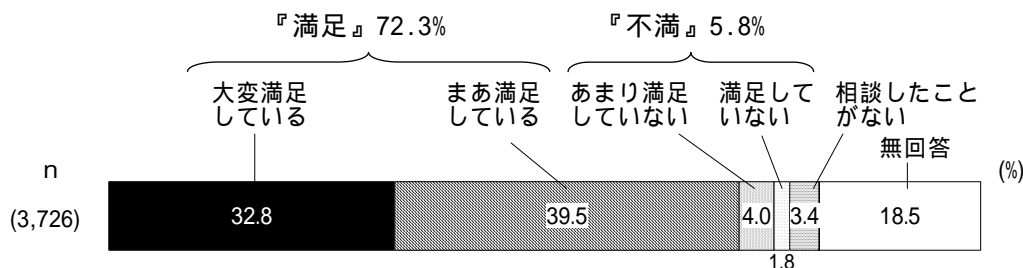
ケアマネジャーの訪問状況（要支援1・2の方）（問19）

ケアマネジャーの訪問や電話等での連絡状況は、「1回以上の訪問や電話等の連絡があり、サービスの実施状況や満足度など、詳しい話し合いがある」が42.1%、「1回以上の訪問や電話等の連絡があるが、簡単な会話を交わす程度である」が23.8%であった。一方、「訪問や電話等一切の連絡がない」との回答は9.2%であった。



ケアマネジャーに対する満足度（問20）

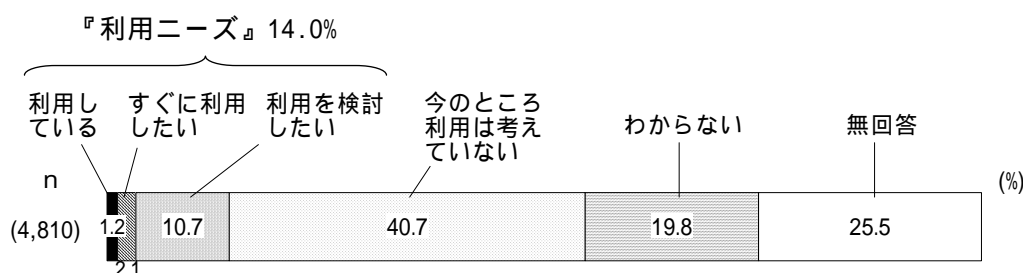
ケアマネジャーに対する満足度は、「まあ満足している」が39.5%で最も多く、これに「大変満足している」(32.8%)を合わせて72.3%が『満足』と回答している。一方、「あまり満足していない」(4.0%)と「満足していない」(1.8%)を合わせた5.8%が『不満』と回答している。



(6) 杉並区の地域密着型サービスについて

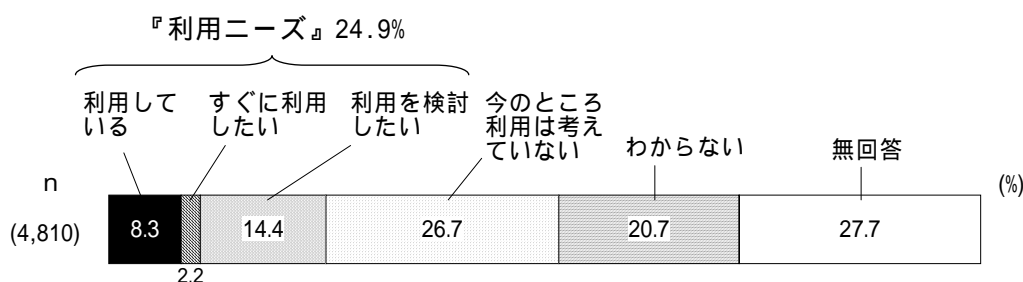
認知症対応型共同生活介護の利用意向（問23）

「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の利用意向は、「すぐに利用したい」が2.1%、「利用を検討したい」が10.7%であった。一方、「今のところ利用は考えていない」との回答は40.7%であった。「利用している」(1.2%)、「すぐに利用したい」(2.1%)、「利用を検討したい」(10.7%)を合わせた『利用ニーズ』は14.0%となっている。



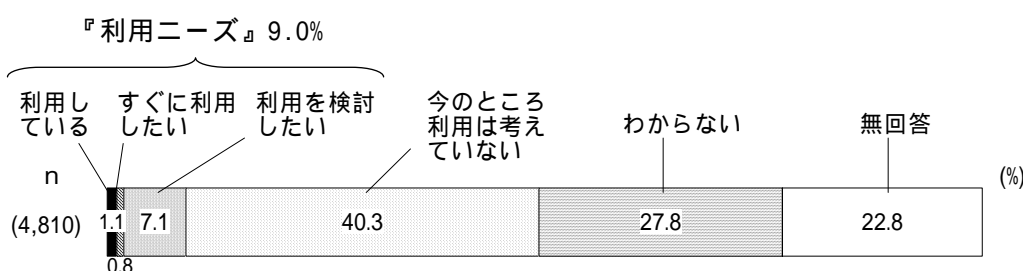
認知症対応型通所介護の利用意向（問24）

「認知症対応型通所介護」の利用意向は、「すぐに利用したい」が2.2%、「利用を検討したい」が14.4%であった。一方、「今のところ利用は考えていない」との回答は26.7%であった。「利用している」(8.3%)「すぐに利用したい」(2.2%)「利用を検討したい」(14.4%)を合わせた『利用ニーズ』は24.9%となっている。



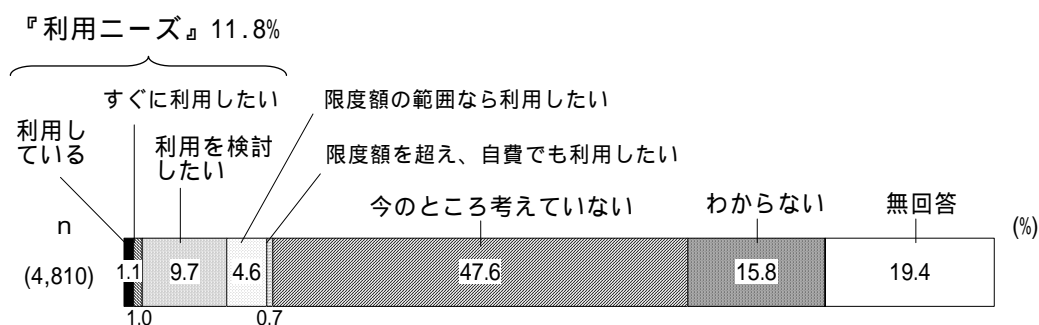
小規模多機能型居宅介護の利用意向（問26）

「小規模多機能型居宅介護」の利用意向は、「すぐに利用したい」が0.8%、「利用を検討したい」が7.1%であった。一方、「今のところ利用は考えていない」との回答は40.3%であった。「利用している」(1.1%)「すぐに利用したい」(0.8%)「利用を検討したい」(7.1%)を合わせた『利用ニーズ』は9.0%となっている。



夜間対応型訪問介護の利用意向（問28）

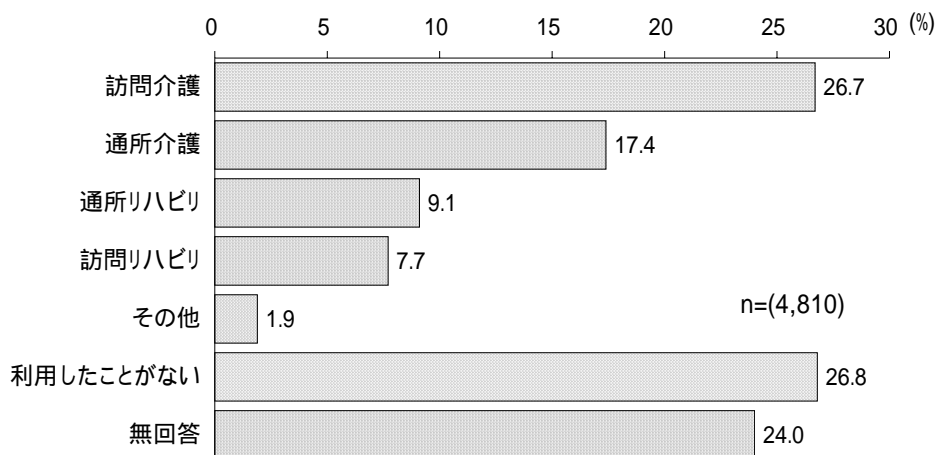
「夜間対応型訪問介護」の利用意向は、「すぐに利用したい」が1.0%、「利用を検討したい」が9.7%、「限度額の範囲なら利用したい」が4.6%、「限度額を超え、自費でも利用したい」が0.7%であった。一方、「今のところ考えていない」との回答は47.6%であった。「利用している」(1.1%)「すぐに利用したい」(1.0%)「利用を検討したい」(9.7%)を合わせた『利用ニーズ』は11.8%となっている。



(7) 介護予防について

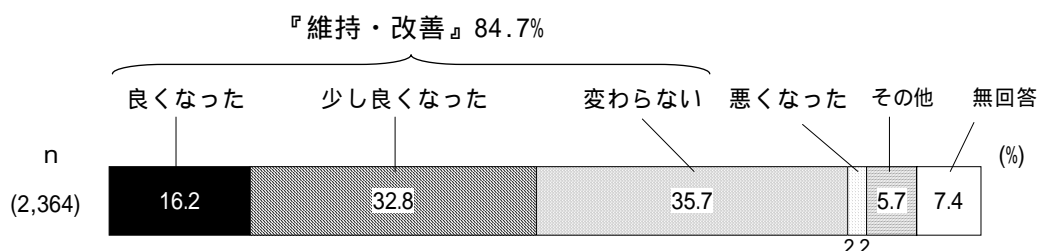
現在又は過去に利用した介護予防サービス（問29）

利用している又は過去に利用した介護予防サービスは、「訪問介護」が26.7%で最も多く、以下、「通所介護」（17.4%）、「通所リハビリ」（9.1%）の順となっている。



介護予防サービス利用後の状態変化（問29 - 1）

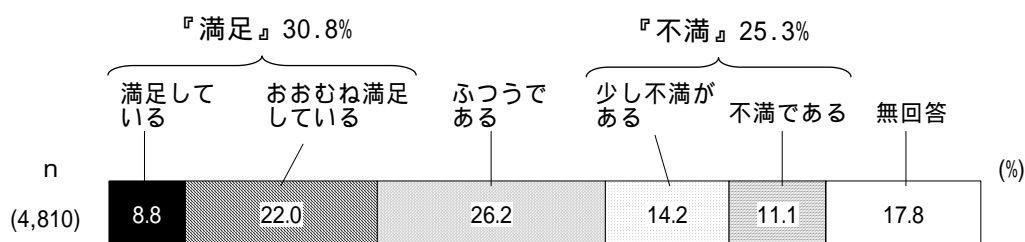
介護予防サービス利用後の身体状態の変化状況は、「変わらない」との回答が35.7%で最も多くなっている。また、「少し良くなった」が32.8%で、「良くなった」（16.2%）、「変わらない」（35.7%）と合わせた84.7%が『維持・改善』と回答している。



(8) 介護保険制度について

介護保険サービスの満足度（問30）

介護保険サービスの満足度は、「ふつうである」が26.2%で最も多い。次いで「おおむね満足している」が22.0%で、「満足している」（8.8%）と合わせて30.8%が『満足』と回答している。一方、「少し不満がある」（14.2%）と「不満である」（11.1%）を合わせた25.3%が『不満』と回答している。



(9) 主な介護者について

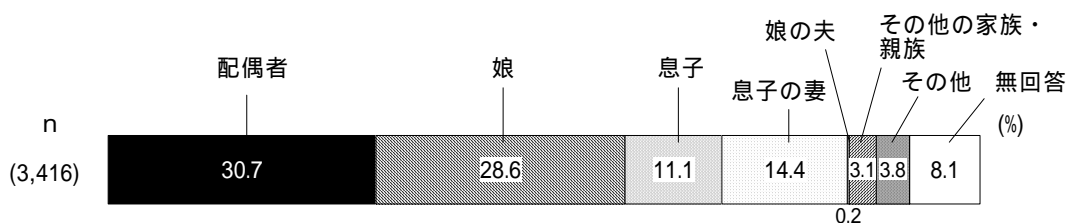
主な介護者の有無 (問32)

主な介護者のいる割合は71.0%であった。



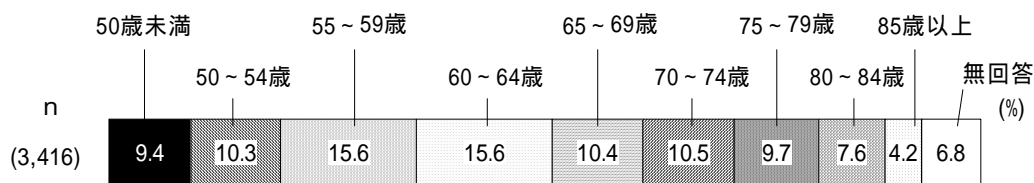
主な介護者の続柄 (問33)

主な介護者の続柄は、「配偶者」が30.7%で最も多く、以下、「娘」(28.6%)、「息子の妻」(14.4%)の順で続いている。



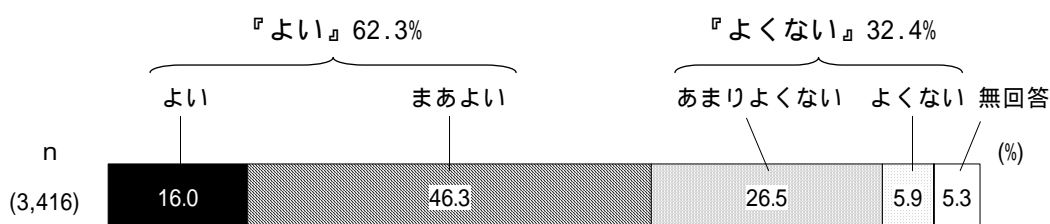
主な介護者の年齢 (問34)

主な介護者の年齢は、「55～59歳」と「60～64歳」が15.6%で最も多く、以下、「70～74歳」(10.5%)、「65～69歳」(10.4%)、「50～54歳」(10.3%)、「75～79歳」(9.7%)、「50歳未満」(9.4%)、「80～84歳」(7.6%)、「85歳以上」(4.2%)の順となっている。



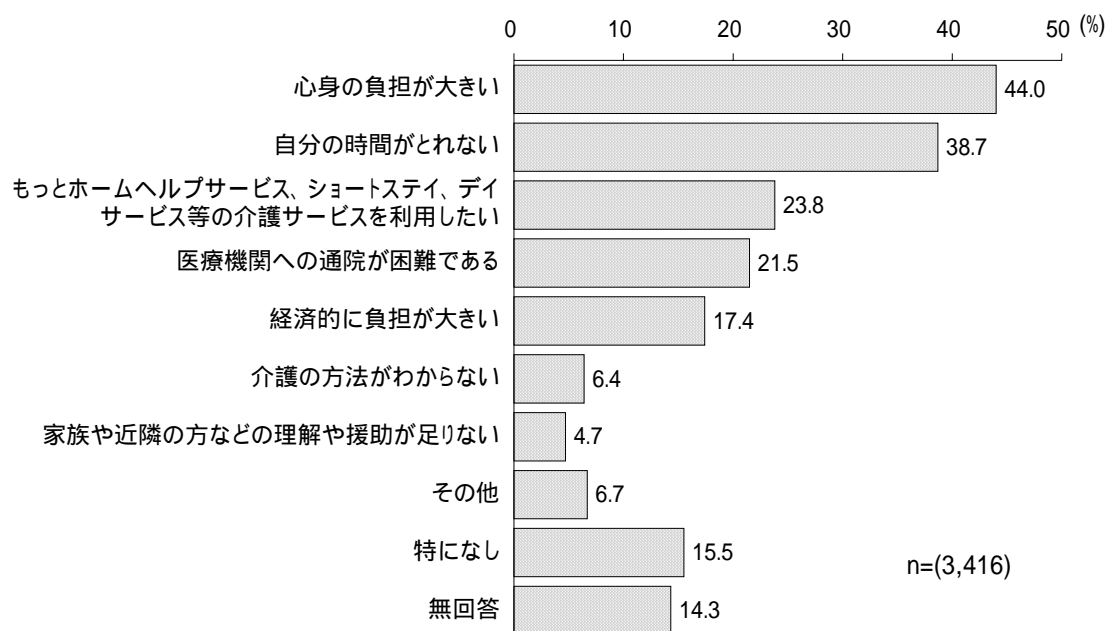
主な介護者の健康状態 (問36)

主な介護者の健康状態は、「まあよい」が46.3%で最も多く、これに「よい」(16.0%)を合わせて62.3%が『よい』と回答している。一方、「あまりよくない」(26.5%)と「よくない」(5.9%)を合わせた32.4%が『よくない』と回答している。



介護をするうえでの困難点（問39）

介護をするうえでの困難点は、「心身の負担が大きい」が44.0%で最も多く、以下、「自分の時間がとれない」(38.7%)、「もっとホームヘルプサービス、ショートステイ、デイサービス等の介護サービスを利用したい」(23.8%)の順で続いている。



杉並区高齢者実態調査報告書 [登録印刷物番号 19 - 0129]

高齢者の生活実態と意識に関する調査

介護保険に関する調査

概要版

平成20年3月発行

【発行】 杉並区 保健福祉部 高齢者施策課

杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03(3312)2111(代)